

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宜真高等学校 特別棟増築工事	階数	地上3F
建設地	大阪府池田市荘園2丁目1番他	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域 第一種	平均居住人員	250人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2017年11月16日
敷地面積	27,359㎡	作成者	有限会社 橋本設計事務所 谷垣
建築面積	1,116㎡	確認日	2017年11月17日
延床面積	3,169㎡	確認者	有限会社 橋本設計事務所 谷垣 敦司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>高等学校の敷地内増築。 断熱性が高く、快適な室内空間を構成している。周辺環境に対しては市道沿いに緑地帯を設けるなど配慮した。</p>		<p>その他</p> <p>外壁色を周囲に調和するような自然な色調とした。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>照明計画と内装計画が一体化されるよう、配置や機種の選定は意匠担当者にて基本計画を行なった。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>教室の天井高さを2.7m以上確保し、ランチルームを設けることで快適性の向上に努めた。トイレ毎にSK等を設けることで維持管理に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物西側の市道沿い部分に緑地帯を設けることで周辺環境に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>照明効率の良い器具選定や、配置をまとめた。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型の衛生器具を採用し水資源の保護を図る。エコマーク認定品やグリーン購入法適合品を使用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害対策に配慮した照明計画としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0116

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	宣真高等学校 特別棟増築工事					
		建設地	大阪府池田市荘園 2 丁目 1 番 他 32 筆					
		用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					2.6	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								